EA770H(O2指示計テストライト)取扱説明書

・0～21%
排ガス中のO_2の測定

〔測定器〕
測定範囲 :0～21%
測定目盛 : 0.5%
精　度 : ±0.5%
ブリゴン指示器、テストライト、吸入装置及び検知液

〔操作方法〕
・排ガスのサンプルを(吸入装置(アスピレーター))でテストライトに吸入します。
検知液にO_2が吸収されると吸収したO_2の量に比例して検知液の高さが上がります。
・吸収されたO_2のパーセンテージを目盛で読取ります。

〔測　定〕
・測定する前にテストライトを1度反転させます。
センターチューブを通って上の液溜の中に検知液が入るようにテストライトを傾けます。
・テストライトをまっすぐに戻します。
少し傾けて底部の液溜に検知液を戻します。
・数回ブランジャバルブを押し下げてテストライト内を通気開放します。
・目盛の0を検知液の頂点に合わせて目盛をナットで固定します。
最大の精度を得るには目盛を0に合わせる時及びO_2含有量を読取る時、液柱頂面が鉢状に
なっているので、この鉢状上部か底部のどちらか決めて読取って下さい。
・レギュレーターから少なくとも15～20cm離れた炉側の測定孔から金属製サンプリングチューブを
差し込んで下さい。
・テストライト上部のブランジャバルブをおおうようにアスピレーターのコネクターチップを押し付け、
ブランジャバルブをしっかり押し下げます。
握り球を握ったり緩めたりの動作を18回してサンプルガスを上部液溜に封入します。
18回目を握って緩める直前にコネクターチップをブランジャバルブから外します。
・テストライトを反転させてテストライトの上部に封入したサンプルガスを検知液に吸収させます。
それからまっすぐにして底の液溜に液をもどします。これを2回繰返します。
・反転する時、ほんの少しの間、テストライトを45度に傾けておきます。
・テストライトをまっすぐに置いて、液面が落ちついて液の小滴が全部底の液溜に落ちたら
すぐに液頂面の目盛を読取ります。
・これでテストライトのサンプルガス分析は完了です。
・テストライトをまっすぐに持ち、ブランジャバルブを押し下げて、次の分析のためにテストライト内を
通気開放します。

〔テストライト検知液〕
・検知液は約6ヶ月の寿命です。
・検知液は約6ヶ月の寿命です。使用中の検知液は、最大精度を得るために時々取替えてください。
・O_2テストライト検知液はO_2を20.9%含む大気をサンプルとしてテストすることができます。
・新しいO_2テストライト液は例えばO_2を10%含有するサンプルガスから約100回、O_2を全部吸収できます。
・オリジナルのテストライト補充液は室温で保存し1年以内に使用してください。

〔テストライト検知液の交換〕
・ねじ4個、金属のカバーリング、シール、ブランジャバルブ等を取り外します。
・古い液を捨て、各部をきれいなぬるま湯ですすいでください。
・センターチューブの中に8㎜くらいまで補充液を注ぎます。
・取り外した各部分を組立てて、4個のネジを取り付けます。
この時、全てのシールが完全に乾いて密着している事を確かめてください。
・元通り目盛を0に合わせてください。

〔注意事項〕
・テストライト検知液は皮膚、衣類、ある種の金属に対して腐食性がありますから取扱いに注意してください。
・子供の手の届かない所に置いてください。
・補充液は鍵のかかるところに保存してください。
・作業中は飲食、喫煙は避けてください。
・酸と一緒にしないでください。
・金属と金属塩から離しておいてください。
・皮膚、目、衣類につかないようにしてください。
もし、体に付着した場合には次の注意に従ってください。
1. 身体についた時 —— 水で洗い流し、液のついた衣類はとってください。
2. 飲んだ時 —— 水をたくさん飲んでください。
3. 目に入った時 —— 水で15分以上よく洗い流してください。
事故の場合、すぐに医者を呼び、この説明書と補充ボトルを見せてください。

〔吸入装置〕
アスピレーターは密閉構造で空気/ガスは金属製のサンプリングチューブからだけコネクターチップへ導かれなければなりません。そのため、バルブが傷んだりして途中で漏れがあれば正確にサンプルガスを測定できません。
1. 指で金属のサンプリングチューブを押さえ、握り球を操作して緑色の排出バルブをチェックしてください。
握り球はしぼんだままになっていなければいけません。
2. 指でゴムのコネクターチップの中心の穴をふさいで赤色の入口バルブをチェックしてください。
握り球を握りしめる時、固くなっていなければいけません。
3. フィルターウールは汚れたり詰ったりしたら取替えてください。
(別売)その時は、ブリゴンフィルターウール〔EA770A-3〕を使用してください。
4. ブリゴンCO_2指示計テストライトとブリゴンO_2指示計テストライトは水分を含んでいるガスを分析するよう調整されています。
水分を含まないサンプルガスは実際のガス濃度より少し低く示されます。水分を含まないガスを分析するとき、あるいはテストライトの精度をチェックするために圧縮ガスを使用するときはアスピレーターのフィルターウールに水を染み込ませるか、又は乾燥したガスに水分を吸収させて引いてください。

〔保守〕
特に保守の必要はありませんが、今までの説明をよく守ってください。
使用しない時は、ダイヤフラムの寿命を延ばすためにテストライトを水平においてください。

株式会社エスコ
本社 /〒550-0012大阪市西区立売堀3丁目8番14号 TEL (06)-6532-6226 (代) FAX (06) -6541-0929